

**診療と研究の
基盤となる検査データ**

検査部では、血液や尿などの成分を測定する「検体検査」と、患者さんの体を直接調べる「生理機能検査」を行っています。臨床検査は、診療や研究のあらゆる判断の根拠のひとつとなります。また検査データは、将来の新しい技術によって見直され、これまで気づかなかった病気の関連が明らかになることもあります。正確なデータを残すことが私たちの役目です。



高知大学医学部附属病院
検査部 臨床検査技師長
徳弘 慎治

15年の研究成果と感謝

エコチル調査でも、日々の診療と同じ姿勢で検査に取り組み、信頼性の高いデータを提供してきました。開始当初は前例の少ない大規模プロジェクトとして体制づくりに苦労しましたが、15年の取り組みを通して、検査データを活用した多くの研究成果が論文として発表されてきました。長期にわたる協力が実を結んだことを実感するとともに、関わってくださった皆さまへの感謝の思いを強くしています。

正確な検査データが
診療と研究の
土台を支えています。

**全国のなかで光る
高知の存在感**

環境が子どもの健康にどう影響するかを解き明かすエコチル調査。全国15拠点の中でも、高知県は四国唯一のユニットセンターとして重要な役割を担っています。開始当初、参加者数が全国1位になるほど多くの県民の皆さまに支えられてきました。自然環境に恵まれた高知のデータは、都市部や工業地帯と比較するうえで欠かせないものとなっています。

**研究成果を
日々の安心へつなぐ**

妊娠期から子どもが成長するまでを長い期間追いかけるこの調査から、全国で600編以上、高知大学の研究者が中心となり33編の論文が生まれました。妊娠中の適切な体重増加の指標や、アレルギー診療ガイドラインへの反映など、研究成果はすでに母子保健の現場で活用されています。10万人規模の出生コホート調査だからこそ、信頼性の高い知見が社会に還元されています。
※出生コホート調査:特定の時期に生まれたグループを対象とした追跡調査

全国10万人規模のデータが
子どもの未来を守る研究に役立っています。
高知の皆さんのご協力も大きな力です。

15th Anniversary Celebration
バトンをつなごう
未来の子どもたちへ

エコチル調査は 15周年を 迎えました

こうちエコチル調査15周年の軌跡と
今後の展望

**途上国で気づいた
“子どもを支えるデータ”の重要性**

途上国で栄養改善活動に関わるなか、子どもの成長を評価するための基礎データが十分に整っていない現実に直面しました。この経験が、母子の健康や親子関係を研究する原点となり、現在はエコチル調査のデータを用いて、妊娠期からの環境が母子の健康や関わりにもどのように影響するのかを明らかにする研究に取り組んでいます。



高知大学医学部
環境医学教室
特任研究員
森 温子

**調査で分かったことを
届けるために**

広報活動にも携わり、高知新聞連載「ずっと、ぎゅっと!」(2017~2023年)の第1部を担当。エコチル調査のデータから見てきた“高知の子どもたちの暮らし”を、日々の子育てで生かせる形でお届けしたいという思いで取り組んできました。参加者の皆さまからお預かりしたデータを地域の子育て支援へとつなげていくことはエコチル調査の大切な役割だと考えています。

エコチル調査で見えてきた
知見を地域の皆さんに
届けたいと思っています。

協力が社会につながる実感

当初は「少しでも役に立てば」という軽い気持ちで参加しました。ですが研究成果が冊子となって届いたとき、自分の回答や協力が社会に生かされていると実感しました。小さな積み重ねが未来につながる。親として、毎日子どもを育てるなかで、この調査が将来の子どもたちの健康を守る大切な取り組みだと強く感じています。



参加者兼スタッフ

無理なく続けられる調査へ

一方で忙しい子育てのなかで、継続が難しくなる方がいるのも事実です。だからこそ、参加者が今後も続けていこうと思ってもらえるように、参加者としての意見を調査運営に生かせるよう日々心がけています。これからも参加しやすい環境づくりのサポートをしていきたいです。また、子どもたちが自らの意思で参加し、その経験を誇りに思えるプロジェクトになればと思っています。

参加者として
スタッフとして
2つの立場で
この調査を
支えています。

エコチル調査
高知ユニットセンター
センター長
菅沼 成文



エコチル調査って?

2010年度に環境省が始めた大規模な国家プロジェクト「子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)」です。環境中の化学物質が、子どもの健康にどのように影響するか明らかにするため全国約10万組の親子にご参加いただき、赤ちゃんがお腹にいる時から定期的に質問票や対面調査を実施し、健康状態を長期にわたり確認させていただいています。高知県内では約7,000組の親子にご参加いただいています。

参加者の皆さま、地域の皆さま
日頃よりご協力いただきましてありがとうございます。
これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

~こうちエコチル調査のあゆみ~

2010 高知大学エコチル調査参加発表

2011 高知市、南国市、四万十市、梶原町の4市町を対象に参加者の募集・登録を開始

2012 調査対象地域に香南市、香美市、宿毛市、土佐清水市、黒潮町、大月町、三原村が追加

2013 県内参加者7,000人達成、参加募集終了

2014 詳細調査スタート

2015 高知新聞にて「ずっと、ぎゅっと! 高知のエコチル調査」連載開始

2016 高知大学の研究員による、エコチル調査データを用いた初の研究論文発表

2017 リクルート期間

2018 リクルート期間

2019 学童期検査スタート

2020 13歳以降の調査継続を決定

2021 13歳以降調査スタート

2022 エコチル調査15周年

2023 エコチル調査15周年

2024 エコチル調査15周年

2025 エコチル調査15周年

2026 エコチル調査15周年

2010年9月7日高知新聞掲載

2011年1月20日高知新聞掲載

2011年7月23日高知新聞掲載

2012年4月13日高知新聞掲載

2014年12月5日高知新聞掲載

2016年2月12日高知新聞掲載

2020年1月16日高知新聞掲載

2023年7月14日高知新聞掲載

2023年5月5日高知新聞掲載

高知の特性把握へ
子どもの健康調査 菅沼高知大教授に聞く

子ども健康調査24日発表
高知市、南国市、四万十市、梶原町の4市町を対象に

県内参加者7,000人達成

エコチルで学童期検査

県内小6対象エコチル調査
13歳以降の継続呼び掛け

世界リーディングの研究
高知大学が国際共同研究で

子どもの生活 データで紹介
住みやすいまちづくり

お問い合わせ
エコチル調査 高知ユニットセンター
〒783-8505 南国市岡豊町小蓮 高知大学医学部内
エコチル調査高知ユニットセンター事務局
TEL 088-855-4351 [平日9時-17時]
●メールでのお問い合わせはホームページのメールフォームをご利用ください

エコチル調査コールセンター
(全国共通)
☎ 0120-53-5252 [年中無休 9時-22時]
https://kochi-ecochil.jp/
こうちエコチル調査 検索

こうちエコチル調査
ホームページ
研究結果など分かってきた
ことを公開しています

3月
29-30-31
日 月 水
限定!

エコチル調査・スマイルギフトであそんでみてね!
二次元コードを読み込むと、ちよるんがARで現れるよ!

SNSで最新情報を
発信しています

いっしょに
ちよるん

ちよるんと
セルフイー

てのひら
ちよるん
カメラに手をかざしてみよう

エコチル調査
環境省
高知大学
こうち
エコチル調査